



どんな小さなことでもいいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

## 8月は、ボランティア強化月間!! ボランティアに関する本を紹介します。

県教育委員会では、皆さんがさまざまな活動に取り組みやすい8月を「ボランティア強化月間」に指定しています。今年の夏休み、ボランティア活動にチャレンジした高校生の皆さんもたくさんいることと思います。今回は、高校生向けに書かれたボランティアに関する本を何冊か紹介します。この他にも、学校の図書室や地域の図書館には、ボランティアに関連した書籍があると思います。これらを読み、皆さんの活動と重ね合わせて、ボランティアについて考えてみてください。



「中学生・高校生のためのボランティアガイド」田中ひろし監修 同友館  
自分にあった無理のないボランティアを見つけるために、この本にある豊富な事例や情報がヒントになるでしょう。



「ボランティアの考え方」秦辰也著 岩波ジュニア新書  
長年の国際的活動の経験をもとに、ボランティアの歴史と思想、ネットワークづくりなど、21世紀の市民参加はどうあるべきかを考えます。



「『世界』を知れば、『自分』が見える」『高校生の国際理解』取材班編著 数研出版  
環境、難民、貧困、保健など、世界が抱える様々な課題に目を向け、高校生としてどうかかわれるか、身近な活動例なども紹介しています。



「あなたにもできる災害ボランティア 津波被害の現場から」スベンドリニ・カクチ著 岩波ジュニア新書  
津波で被災したスリランカやタイで行われているボランティア活動の実例を紹介しながら、特別な技能がなくてもできる活動を紹介しています。



## エアポート訪問! 第8回 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの巻

茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 Tel 0467-88-7546

私が中学生の頃からボランティア活動に興味を持ち、参加してきたのは、近所の方からのボランティア先の紹介と、「ありがとう。」と感謝し、喜んでくれる人たちの姿が私を励ましてくれたからです。また何より、ボランティアをしていると、自分自身が楽しいと思えたからです。

中学校では、地域のバリアフリーについて調査研究し、職場体験では「知的障害児通園施設」に行きました。高校生になってからは毎日が忙しく、特に活動をしていなかったのですが、3年生になり、自分の進路や気持ちを確認するために、ボランティア活動に再び目を向けてみました。そこで、以前から耳にしていた「茅ヶ崎市民活動サポートセンター」を訪問しました。私の質問に対して、たくさんのボランティア情報や資料を見せてくださり、とても親切な対応をしてくださりました。また、私が知らなかったことなども、いろいろと教えていただき、とても勉強になりました。ボランティアに関心のある方は、気軽に行ってみてください。

ボランティア活動は、たくさんの人との出会いがあり、また、参加してみないと感じられない嬉しさがあります。ぜひ、そんな出会いからボランティアの輪を広げていけたらよいなあと、改めて思いました。(県立鶴嶺高等学校 3年 千葉奈々美)



高校生が参加した「おはなしマラソン」の様子

高校生のみなさんへ  
各高校で取り組んでいるボランティア活動の紹介記事を募集します。先生を通して申し出てください。

